

「大阪府高等学校生物教育研究会協力会」たより 第16号

「大阪府高等学校生物教育研究会」協力会だより

第16号(2017年4月)

[▶▶だより第15号へ](#)

大隅良典先生ノーベル賞受賞に関連して

[▶▶だより第17号へ](#)

会長 中野 俊勝

協力会会員の皆様におかれましては、日々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より協力会の活動にご理解ご協力を賜っていますことに深く感謝申し上げます。

さて昨年12月に、大隅良典先生がノーベル医学生理学賞を受賞され、日本人3年連続受賞の快挙となりました。受賞対象の研究は、ご承知の通り、酵母が細胞内でタンパク質を分解して、再び利用するリサイクル機能「オートファジー」と呼ばれる現象を解明されたことでした。

ノーベル賞の晩餐会でのスピーチで、大隅先生は、「40年間研究してきた酵母が、私に多くの教訓と大好きなお酒をもたらしてくれたことに感謝している」と述べられ、お酒愛好家には、たまらないジョークも含まれていました。

また大隅先生は、近年、成果主義のあまり、基礎研究が疎かになっている状況を憂慮して、基礎研究分野における若手研究者の支援と研究分野の裾野の拡大を目的として、およそ1億円のノーベル賞賞金を原資に「大隅良典記念基金」を設立されました。

日本の科学の危機的状況については、3月に英科学誌「ネイチャー」も、「日本の科学研究はこの10年間で失速し、科学界のエリートの地位が脅かされている」と指摘しました。

ところで、4月17日～23日が今年度の科学技術週間で、標語として「なぜ？から始まるわくわくが ステキな未来をつくるんだ！」が設定されていました。

当生物教育研究会の活動の原点もここにあると思います。科学技術立国として、将来の我が国を支える人材の育成は、大きな教育的使命です。

生物教育研究会の今後一層の発展を願い、協力会会員の皆様と共に支援を続けて参ります。それでは結びに、協力会会員の皆様のますますのご健勝ご多幸を祈念申し上げます。

事務局より

今年度も続いて会員登録(会費振り込み)をお願いします。

会費振り込み用紙を同封しますので、6月半ばまでに振り込んでいただきますよう、よろしくをお願いします。皆様のご協力により、会計には多少余裕ができました。ありがとうございました。会費(正会員 3,000 円、賛助会員 2,000 円)のほかに、寄付を上乗せして振り込んでいただいております方には、重ねて御礼申し上げます。

なお、振込用紙の連絡欄に近況をお書きください。次号に掲載いたします。

② 来年は研究会創立70周年です。研究会式典・祝賀会でお会いしましょう。

研究会では、来年秋に70周年の会を計画されているようです。改めてご案内しますが、その折には皆様、是非ご参加ください。

③ 協力会行事(総会や歴史散歩、研究会行事)に参加ください。

お元気な方、ご都合よろしければ、遠慮なくご参加いただきたいと思います。

研究会の会誌は、この協力会の助成金等をもとに刊行されています。6月発行の「協力会だより 17号」発送の際にお届けします。

1 2016年度 行事報告

第8回協力会総会

2016年6月10日(水)研究会総会と同日に実施 (第15号で報告済み)

研究会森林生態部会による岸和田市中央公園での樹木観察会に参加

平成28年10月13日

(木)

部会担当者は出原茂樹氏(佐野高)、宮井一氏(枚方なぎさ高)、榎阪昭則氏(泉北高)、長尾祐司氏(東百舌鳥高)である。お世話いただきありがとうございました。

研究会からは15名(各校中間考査中で平日の行事でも参加可)、協力会からの参加者は中野会長、古久保俊子氏、辻本の3名であった。松本氏はアキレスの手術から回復が十分でないにもかかわらず、春木駅前まで来て下さった。

当日は南海本線春木駅に集合して公園入口のマドカホールまで歩き、この前で開会挨拶、自己紹介の後、公園内を歩き始めた。この公園は「日本の都市公園100選」に選定されていて、大阪地方の自然林を構成する樹木その他、街路樹・園庭木が多数植栽されており、身近な都市緑化樹木を学習するには最適である。

講師の出原氏から、公園の地図に樹木を書き入れた資料を配付され、1つ1つの樹木について、特徴や名のいわれなどを懇切丁寧に解説していただいた。途中、中央公園芝生の広場で昼食をとり、午後公園内をくまなく歩き、スタートのマドカホール前で3時前に解散した。

観察したおもな植物名を記しておく。ニレ科(エノキ、ムクノキ、ケヤキ、アキニレ、ハルニレ)、ヤマモモ、シャリンバイ、ウバメガシ、ネズミモチ、タブノキ、トチノキ、アメリカハナミズキ、サンゴジュ、クロガネモチ、イスノキ、イヌエンジュ、ハリエンジュ、ポプラ、ヒトツバタゴ(ナンジャモンジャノキとよばれるものの1つ)、ハリエンジュ(ニセアカシア)、イヌマキ、カツラ、サルスベリ、メタセコイア、マサキ、モッコク、カイズカイブキ、タイサンボク、タラヨウ、シナサワグルミ、ソテツ、センダン、ナンキンハゼ、イロハカエデ、トウカエデ、アメリカフウ、コナラ亜属(コナラ、ミズナラ、クヌギ、ウバメガシ)アカガシ亜属(アラカシ、シラカシ)シイ属(スダジイ、ツブラジイ)マテバシイ属(マテバシイ)(辻本記)

第8回歴史散歩「西高野街道を歩く」河内長野駅から滝谷駅まで

平成28年11月17日(木)に予定していた松本先生の案内による恒例の行事は、松本先生が

アキレス腱を負傷されたため今年度は中止しました。

平成28年度に定年を迎えられた先生方を囲む会

平成28年7月1日(金)堺東「SAKURA」にて

今年度、定年を迎えられたのは、仲田敏弘先生(農芸高校)と井上 洋先生(芥川高校)のお二人でした。この日、三国丘高校での研究会第1回委員会の後、堺東に移動しての会となりました。研究会は16名の参加があり、協力会からは中野が参加しました。

寺岡正裕研究会会長の挨拶に続いて、中野が協力会への勧誘と、両先生の現職の頃の研究会との関わりにも触れて、ご挨拶をしました。乾杯の後、歓談となり、この中でお二人の先生からの当研究会でのご活躍の様子、特に仲田先生が会誌編集やサイエンスパートナーシップ等で努力されたこと、また井上先生が生徒研究発表会で生物部の活性化に貢献されこと等、さらに思い出話がいろいろ語られて、会は一層盛り上がりました。研究会の先生方からは、事務連絡や熊本大会に向けての打ち合わせ、そして勤務校に関する事や早くも来年度の取り組みなどが飛び交って、会話が弾み充実した時間を過ごしました。終わり近くになって、教育センター広瀬祐司先生、前事務局長北浦隆生先生、新事務局長岡本元達先生からの挨拶があり、一本締めで閉会となりましたが、皆さんの今後のますますのご活躍の意気込みを聞いて、心強く解散しました。(中野記)

⑤ 第2回実験研修会に出席

平成28年12月9日(金) 中野俊勝

岸和田市立公民館を会場にして、「きしわだ自然資料館」の学芸員柏尾 翔氏による講義『大阪湾の生き物とチリメンモンスター』と実習『チリメンモンスターさがし』が実施されました。チリメンモンスターとは、チリメンジャコの中に混じっている稚魚や幼生のことです。この実習

にはボランティアとして、経験豊富なネイチャー大阪の6名の方にサポーターとして加わっていただきました。参加者は、大阪北部の先生方も来られ、研修の様子を参考にしたいと大阪市立自然史博物館から2名の学芸員も見えられて、総勢50名近くになり講座室は身動きが取れない程の盛況でした。実際の観察では、エソ、タチウオ、シャコのアリマ幼生、カワハギ、アジ、タコ、イカなど、中にはツツノオトシゴを見つけて喜んでおられる先生もいました。実習後、参加者は近くにある「きしわだ自然資料館」の展示を見学しました。

実験研修会解散後、南海岸和田駅近くの居酒屋で、研究会有志、柏尾氏とボランティアの方々、そして自然史博物館学芸員釋氏、大江氏も参加していただき、懇親会が持たれました。私は、研究会協力会会長の立場と市の施設を所管する教育委員会委員としての二つの立場で参加し、会の冒頭でのご挨拶で、「本市の自然資料館の研究成果が、大阪府内の高校で広く紹介されることは、意義深いことで大変嬉しく思います。」と述べました。

懇親会では、まず突出しにホウレンソウの御浸しが出て、これにはきっちりとチリメンジャコが入っていて、一同の笑いを誘いました。そして、実験研修会の成果などについて和やかに話が盛り上がりました。

2 2016 年度 会計報告

収入

支出

前年度繰越金 197,157円 「協力会だより」

会費・寄付金 154,000円 第14号発送経費 4,800円

2,000円 1人 会費払込料金 3,600円

3,000円 19人 研究会へ助成金 100,000円

10,340円

351, 157円

支出合計 118, 740円

差し引き 232, 417円 次年度へ繰り越します。

「監査の結果、適正に処理されていたことを確認しました。」

2017年4月5日 会計監査 梶村重

次

3 今年度(2017年)の行事予定

各行事については、総会で決定します。次号にて詳しくお知らせします。

(1) 総会(研究会総会と同日に実施)

日時: 平成29年5月19日(金)

場所: 大阪府立高津高校記念館1F同窓会室

内容: 2時30分より生物研究会総会 3時から4時30分まで記念講演

「クローン生物がもたらした可能性」講師: 近畿大学生物理工学部 宮本圭先生

終了後、4時30分より協力会総会を行います。 そのあと近くの店で懇親会を開催

予定。

(2) 研究会行事に参加

研究会の研修会、研究発表会、部会行事に出席したいと思います。詳細は次号で案内します。

(3) 協力会の行事 第9回「高野街道歴史散歩」

昨年同様に松本氏の案内で実施します。富田林寺内町をご一緒に歩きましょう。当日は詳しい資料が配布されます。なお、詳細は次号にてご案内いたします。

4 2016年度『大阪府高等学校生物教育研究会協力会』会員(会費納入者)

(記載順は生物教育研究会会誌役員名簿による)

(正会員) 今安達也 松田仁志 和佐真宏 江坂高志 中原 圓

渡邊勉治郎 足立 堯 萱村善彦 福坂邦男 古久保俊子
吉川 浩 河野成孝 梶村重次 中野俊勝 辻本昭信
松本 弘 山住一郎 澄川冬彦 奥本 隆 石崎英男
富田織江 小畑和人 田中正視 牧野修司 奥野嘉彦
大江 進 竹林隆昭 大島みどり 杉山友恵 平岡誠志
広瀬祐司 佐々木洋一 以上32名

(賛助会員) 寺岡正裕 柴原信彦 井上慎一 幸川由美子 木村 進 以上5名

★住所、電話等の個人情報については事務局へお問い合わせください。

5 協力会役員と事務局、

・会長・・・ 中野俊勝 ・ 副会長・・・牧野修司

・幹事(事務、会計、会計監査)・・・松本弘、梶村重次、大島みどり、辻本昭信

・事務局(辻本昭信) 振替 口座番号 00910-2-226178

口座名 大阪府高等学校生物教育研究会協力

会

住所 高槻市西冠1-10-1 電話 072-675-1710

FAX 072-675-1736 メール s.tsujimoto@tcn.zaq.ne.jp 迷惑メール対策で

◎にしています。

研究会のホームページ(<http://seiken.sub.jp/>)に「協力会」の記事を掲載

6 会員の近況

この欄は、振込用紙やはがき等により連絡があったものを記載します。皆様もどうか一報ください。HPの掲載は、個人情報を考慮して一部は削除します。投稿記事も歓迎します。

原本哲也(奥様より)

2016年11月に夫・哲也は90歳で他界しました。故人が生前賜りましたご厚情に感謝します。

(事務局記: 原本先生は四條畷高校に長くお勤めでした。研究会誌の編集や研修旅行等、委員

としてお世話いただきました。哀悼の意を表します。)

松本 弘

3月25日、田んぼから飛び降りて足のくるぶしを骨折。病院に入院し手術を受けて、4月14日現在も治療中。今も、大学の非常勤講師をして頑張っていますが、年齢も71歳になり、自分の今までの来し方や将来について考えることが多くなりました。

辻本昭信

昨年より家内実家のお寺(浄土真宗 亀岡市東別院)の住職も兼ねています。体力は多少衰えましたが、友人との山歩き会や庭の草花・木々の花など園芸を楽しんでいます。大きな宇宙の命に抱かれて、「スローライフ」「少欲知足」をモットーとし、自然との共生の中で平和で安らかな「自他共に心豊かな」生活を願望する日々です。

[Home](#) 